

<p>活動名</p>	<p>学校花いっぱい推進支援事業</p>
<p>活動概要</p>	<p>本年度も新型コロナウイルスの感染拡大が続いたが、花作りは戸外の活動であり、互いに密を避け感染予防に努めながら例年通り苗作りを行うことができた。</p> <p>この事業は8年前から取り組んでおり、県本部より助成を受けてから6年目となる。それ以来春秋全シーズンを通して学校・園の花いっぱい活動に貢献して来ている</p> <p>熊毛地区内には幼稚園・保育園8園(新設1)、小学校5校、中学校1校、高校1校がある。いずれの施設も花いっぱいの環境づくりには力を入れている。各施設で苗を育てるにしても育苗方法や管理等、先生方や職員の過重な負担と時間がかかる上、かなりの経費がかかり、なかなかそこまでは手が回らない。そこで、年2回春と夏に会員の畑を借用し、協力して花壇や鉢栽培用の花の種を蒔き、苗を栽培して配布することにより、各施設の花壇に植えてもらって、花いっぱい活動の支援をしている。</p> <p>……▶ 種まき→育苗→(ポットへ移植)→苗の配布→各校・園で栽培→種取り ……▶</p> <p>また、春にはビオラの鉢植えをいくつかの園・小中学校の卒業式や入学式に貸し出して、式場に彩りを添えて喜ばれている。</p> <p>花いっぱい活動は、心豊かな子供達を育てる気運や園・学校・地域の美しい環境を醸成することができ、各地で好評を得ている。苗作りは毎年の気象条件に左右されることから神経を遣うが、毎年喜んでもらえており、さらに、花の種類や数、苗の定植の時期、花の管理の仕方など現場の声を聞き、質の良い苗を安定的に供給できるよう模索していきたい。</p> <p>【夏の花栽培の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の種類 サルビア、マリーゴールド、ポチュラカ (各約1000本) メランポジウム、千日紅(各約400本) ・4月 畑づくり、種まき ・5月 育苗、灌水、草取り、間引き ・6月 苗の配布 ・11月～ 種取り <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="406 1480 935 1704">  </div> <div data-bbox="1018 1480 1490 1704">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="406 1704 935 1792"> <p>手のかかる間引き作業 (5月22日)</p> </div> <div data-bbox="1018 1704 1490 1792"> <p>きれいに間引きされたマリーゴールド(5月25日)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="406 1792 935 2074">  </div> <div data-bbox="1018 1890 1490 2208">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="406 2074 935 2119"> <p>ポチュラカを植え付ける 子ども達 勝間小(6月2日)</p> </div> <div data-bbox="1018 2208 1490 2235"> <p>苗の配布作業 (6月10日)</p> </div> </div>



花壇への水やり（8月25日）
3年連続「最優秀賞」の花壇 高水小



2年連続「優秀賞」の熊毛中の玄関
（8月27日）



よく咲いた勝間小の花壇（8月27日）



彩りのよい八代小の花壇（8月23日）

【ビオラ栽培の概要】

- ・ 8月下旬 種まき
- ・ 9月上旬 ポットへの移植、灌水、育苗
- ・ 10月下旬～11月上旬 苗の配布（約1400本）
- ・ 翌年5月 種取り



播種後10日余りで発芽（8月27日）



セルポットへ移植(8月31日)



ポットへの移植作業(9月15日)



成長した苗（10月18日）



配布準備ができた苗 約1,400本
(10月20日)



花壇に苗を植え付ける子ども達
三丘小(11月4日)



よく咲いたビオラの一鉢栽培
高水小(4月6日)



卒業式・入学式に飾るビオラ
(4月6日)

成 果

この事業を通して次のような成果があったと考えている。

- ① 各校や園等に苗を継続的に配布しているので、毎年当てにして待っておられる。先生方の管理の技術も上達しており、市の花壇コンクールでも3年連続「最優秀賞」や「優秀賞」を受賞した学校もあり、各学校で花いっぱいへの取組が積極的になり、大きな成果を上げている。
- ② 各校に花の苗という目に見える具体的支援を継続的に行うことにより、教育会への理解も深められ、花いっぱい活動への貢献は会員の加入者増にもつなげることができたと思われる。
- ③ 助成金を有効に活用することにより各学校だけでなく、幼・保育園、一部の自治会などに苗を広範囲に配布できた。また、花作りには土作りが大切であることから培養土を配布したところ、とても喜んで頂けこれまで以上に花いっぱい活動の支援をすることができた。

今後の課題

これからの課題として次のようなことが考えられる。

- ① 夏の花について、各校の栽培の様子や管理方法、要望等にも耳を傾けながらさらに栽培しやすく、見栄えがよく、暑さに強く、花期が長く、花つきのよい種類や彩りのよい花を栽培して配布していきたい。
- ② 苗の栽培は土質や種、天候や管理の仕方などに左右される。また、毎年続けて種を取っていくと花が劣化していくものがあり店頭に見られるようなそろった上質の苗を作るのはなかなか難しい。今後も研究を重ねていく必要がある。

- | | |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | <p>③ 苗を配布してもいつまでも植えられていないことがあるので、苗の出来る時期と学校の花壇の植え替えの時期が合うように状況をよく見ながら育苗する必要がある。</p> <p>④ 現在は主に小・中・高等学校に配布し、わずかながら幼・保育園、自治会にも配布しているが、市の苗の配布事業と重ならないようにして、さらに地域の花いっぱい活動の推進へと広げていきたい。</p> |
|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|